業務だったので、喜んで担当させていただきました。それに、一度会ったことがあったので、緊張せずにできましたね。

阪野　自分で必要な書類を作ってはみたものの、これで良いのか不安がありました。実際、祐さんに見せたらやっぱり修正するところがあって。細かな文章とかもチェックして下さったので、安心感がありました。若者サポーターを利用したことで、**行政書士が身近になった**気がします。

佐藤　すごく嬉しいです。敷居は高くないんですけど、やっぱりそう思われがちなので。

阪野　祐さんにはサポートをきっかけに、設立した法人の監事になってもらいました。専門的な視点で書類をチェックして下さるので、助かっています。

相談する側から〝される〟側へ

阪野　若者サポーターになって、いざ相談を受ける側になると、自分自身にも変化がありましたね。相談される方はなかなか**言語化できない部分を持っていることがあるので、それをどう言語化していくか**とか。私への相談は、パソコン関係や「これからなにかをしたい」という方が多かったんです。パソコンの使い方については、デジタルリテラシーの部分で伝わらない単語もあって、伝え方を鍛えられました。

「組織を作りたい」という相談を受けることもあったのですが、組織を作ることを目的かのように言われると、私は法人を作ったときの大変さや設立後の労力の話をするんです。**組織を作るのは手段であって目的にはなりません**から。私の話を聞いて進めなくなるんじゃないかという心配もありますが、でも、**一度立ち止まって考えてほしいな**と。「あのとき教えてくれればー！」ってならないように。（笑）。

佐藤　僕の場合は阪野さんがサポートした後の、具体的な法人化の部分になるので、そのときはもうすでに法人を作ることが前提で、そこでストップすることはないですね。やっぱり、**夢や希望を抱いて新しいことに一歩踏み出そうとする人と一緒になにかをすると**

いうのは、楽しいです。ただどうしても、もうちょっと今後のことをきちんと考えてから踏み出すほうが良いかなというときは、スピードダウンしてもらうこともありましたけど。

阪野　「若者サポーター」で出会う方は**前に進みたいと思っていて、意志が強いので、こちらもワクワクしてきますよ**ね。思いっきり背中を押し続けることもできるんでしょうけど、それは果たして真摯な対応なのか、迷います。

▼ 朝日町にある拠点は青い暖簾が目印

「つながり」が広がっていく

阪野　未知の出来事がたくさんあって、「こんなことも地域で起ころうとしているのか」とか、知らなかった世界がまだまだたくさんあるんだなということに、知的好奇心が広がります。全部に関われなくて悔しいなっていう思いもあります。いろんな人と手を取り合いながら、人間って生きていくんだなあと思いますね。

佐藤　若者支援に携わることで、いままで関わりのなかった業種の方とも関われるので、人脈が広がりました。そうすることで視野も広がりますし、行動範囲も広がって、自分自身の可能性も広がっていくのかなと思います。

◀ 阪野さんが朝日町の若者と共に開催したイベントの様子

親交はプライベートでも

佐藤　僕は昨年結婚したんですが、式で阪野さんにピアノを弾いてもらったんです。

阪野　はい。女性を想って作られたと言われる曲を演奏しました。

佐藤　ものすごく評判が良かったです（笑）。それから、まだ実現してないんですけど、以前から山登りしましょうって話をしてましたね。大朝日岳に。

阪野　実は私は若干仕事意識もあって。移住関係も関わっているので、登山の様子を映像に収めようかなと。

佐藤　（笑）。分かります。法人の経営者はそうなりますよね。

▲ 結婚式でピアノを演奏する阪野さんと新郎の佐藤さん

山形に愛着をもつ若者へ

佐藤　今の若い人と話をしていると、**山形の地域を活かしてなにかできないか**ということを考える人が、僕らの若い頃よりも増えている気がします。**山形に対しての愛着を持ってくれているんじゃないかな。**

阪野　私はなにかやろうという若者と関わることが多いですが、そういう方は**地域とのつながりもうまくできていて、輪を広げて楽しみながらやっているな**っていう印象を受けます。地域のおじいちゃんおばあちゃんとも楽しみながらっていうのが、今時なのかもしれないです。**地域の方も頑張っている人を応援したいっていう気持ちがある**んでしょうね。やっぱり山形に愛着を持って、自然が豊かだったり食べ物がおいしかったりという都会では味わえない山形の良さに着目して、広げていってほしいです。**地域の良さを感じられるようになるには学びが必要なところもあります。**例えば、ふと仕事の手を止めて、その辺にある草花とかを見て、光の照り返しに気づいて、自然の中って良いんだなと感じる素養というか。**価値を示してくれる人との語らい**があって、自分は山形の良さを感じられるようになりました。

佐藤　さっき話した山登りなんて、山形に住んでいないとこんなに頻繁に楽しめないですから。そういう意味で**山形を楽しむ、そしてまた新しい人を呼んでもらえる**ようなことができたらいいですね。したい方がいたら「若者サポーター」などを通してバックアップできたらなと思っています。

check!

喫茶＆シェアスペース at LOUNGE（Facebook）（一社）で地域の新スポットづくりと、スペイン料理のお店のオープンを目指す方の応援をしています。